

「鳥取県の将来ビジョン」改訂に係るパブリックコメント 実施結果

令和2年1月7日
新時代創造課

- 1 実施期間 令和元年11月22日（金）～12月20日（金）
- 2 募集内容 ①他の都道府県と比べた現在の鳥取県の強みや良さ
②2030年頃になってほしい鳥取県の姿
- 3 応募件数 54件（13名）

4 いただいた御意見一覧

(1) 他の都道府県と比べた鳥取県の強みや良さ

意見内容
地方都市の中では公共交通に不便を感じない。
人口が少なく、住民と行政との距離が近い。
自然環境が豊かで、農林水産物が豊富にある。
人と人との結びつきが強い。
ボランティアやNPO活動に参加する人が多い。
事件、事故、犯罪が少なく、安心して暮らせる。
空気が澄んでおり、星空が美しく見える。
県民の話し方など「おっとり」としたイメージを活かしてほしい。
充実した仕事と学習、休日生活がある。

(2) 2030年頃になってほしい鳥取県の姿

意見内容
【暮らし・生活】
空き家・空き地が増えているので、土地を有効利用し地域を活性化してほしい。
できる限り自家用車に頼らずに暮らせるコンパクトなまちづくりを推進してほしい。
公共交通を利用することが地域の足を守るボランティアだという意識付けが必要だ。
千代川、天神川、日野川の下流域の住民が上流域にも居住基盤を持って、集落コミュニティに参画する双住型社会を実現してほしい。
【インバウンド・観光】
鳥取県を訪れる人は、充電のための観光や情報収集が目的だと思う。
県内資源を活用したインバウンド等の拡大により、雇用を創出してほしい。
産業構造やインバウンド観光の拡大など人口減を補う活力源をもたらしてほしい。
国内外から多くの人を訪れるよう、1年を通じたアウトドアスポーツの祭典を開催してほしい。
インバウンド観光客の拡大を見据えて、家族的な民宿や自炊しながら滞在できるゲストビレッジを整備してほしい。
インバウンドを拡大する方策として、むきばんだ遺跡や青谷上寺地遺跡等をつなげた古代フィールドミュージアム構想を実現してほしい。
【産業活性化】
希望する働き方を実現してほしい。
専門性の発揮や福利厚生充実など、しっかり働ける環境が必要。
先進性や地域に根付いた活動など、小規模だがやりがいのある仕事に就けるようにしてほしい。
企業誘致を引き続きやってほしい。
県内就職、Uターン就職や移住・定住を促進することで、地域で活躍する若者を増やし、人手不足・後継者不足を解消してほしい。
農林水産業、商工業の人手不足、後継者不足を解消するため、学生が県内企業に就職するように働きかけてほしい。県内企業の魅力を高校生にも発信すべきだ。

意見内容
効率的な収穫技術を確立し、林産加工や食品加工の二次商品化技術開発を進め、安定した農林水産業を実現してほしい。
県が一致団結して、新鮮な魚を県内全域で観光客に提供できる仕組みを作してほしい。
養殖が盛んになってきたサバを使い、サバ文化を発展させ、県内外へ発信してほしい。
【環境・自然保護】
太陽熱や風力、温泉熱、山林などを資源とする効率的な電源開発によって、単県でエネルギーを自給できる県になってほしい。
スギやヒノキの造林面積を減らし、広葉樹との混交林面積を拡大し、クマヤシカ等の生息環境を確保して、人と動物の棲み分けを実現してほしい。
持続可能性の問題は地球規模の課題であり、国連決議でもある。しかし、わが国はまるで無関心であり、県でも自分のこととなっていない。
【災害・インフラ】
鳥取道、山陰道、山陰近畿自動車道など県内自動車道の早期供用や4車線化を進めてほしい。
災害に強い県土強靱化を進めてほしい。
犯罪や事件、事故が少ない、治安の良い県にしてほしい。
【子育て・福祉・多世代活躍】
結婚・妊娠・出産など子育てがしやすい環境づくりをしてほしい。
医療従事者の確保により医療を充実させてほしい。
高齢者が地域社会に貢献できるよう生きがいづくりを進めてほしい。
女性のUターン、移住・定住、子育て施策の充実など、女性が活躍できる環境づくりをしてほしい。
年少人口を増やして、特に中山間地域に多くの子どもの住んでもらいたい。子どもがいないと地域が寂れていく。
企業育成、介護支援ロボット導入など、介護・医療の先進県になってほしい。
【教育・次世代継承】
少人数での教育や自然を活かした教育を進めてほしい。
伝統のある祭や工芸品などの文化を若い人に継承してほしい。
若者が県内に住み続けるよう小中学生にふるさとの魅力を知ってもらう教育をしてほしい。
【官民連携・協働等】
多様で機能的な関係による広域連合を実現し、官民協働による効率的な行政運営を実現してほしい。
東京一極集中を是正し、企業や中央官庁の県内への移転を推進してほしい。
県内が東西に分かれており、県として一体感を感じることがない。東中西部の団体が集まって地域芸能を発表するなどお互いが交流する場がほしい。
【その他】
県民それぞれが、それぞれに沿った形で、何か新しいことを考えてやっていることが必要。
世代間でつながっていくこと、つなげていくことを考えていく必要がある。
県民一人一人が責任と誇りを持ち、互いに認め合える鳥取県にしてほしい。
50年後の鳥取県の姿を作り、そこから見た10年後の姿を策定してほしい。
団塊の世代が終わりを迎え、次の世代へバトンタッチするのがこれからの10年だ。
県民が豊かさと幸せを実感しながら平和に生きられる社会を作してほしい。
国民体育大会が鳥取県で開催される際には、県内出身者のみで選手団を結成してほしい。
移住希望者の増加により、鳥取県の移住が狭き門となることで、鳥取県の希少価値を高めてほしい。

以上